

カリフラワーの育て方

カリフラワーとはアブラナ科の野菜で、地中海沿岸が原産地とされています。日本には明治時代になって導入されましたが、一般にはなかなか普及する事はありませんでした。戦後、食習慣の西洋化に伴い一般に普及していきました。

■ 年間カレンダー

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
一般地	タネまき												
	定植												
	収穫												

春まき・夏まき栽培が可能です。品質の良いものを収穫するのであれば夏まきが良いでしょう。
ブロッコリーとは違い頂花蕾のみの収穫になります。
花蕾の日焼けを起こしやすいので注意してください。

発芽適温: 15～30℃ 生育適温: 15～20℃
土壌適応性: pH6.0～7.0 輪作年限: 2年

1 タネまき

セルトレイ等にタネまき用の培土を入れ、十分に湿らせてから2～3粒タネをまき、覆土をします。覆土をかけた後土を手で軽く押さえてください。本葉が2～3枚までに1本に間引きをします。



2 畑の準備

植え付けの2週間前位に堆肥と石灰、油粕・化成肥料等を散布し、よく深耕しておきます。肥料は根を作るために堆肥を十分に混ぜ込んでください。

3 定植

本葉が4～5枚で定植になります。株間は40cm前後、畝間は60～70cmで植え付けます。



4 管理

1回目の追肥は本葉が7～8枚前後で与えてください。但し、与え過ぎには注意してください。



2回目の追肥は花蕾が出来る頃与えます。



5 収穫

花蕾の大きさが15cm前後になりましたら収穫になりますが、直射日光が当たると日焼けを起こしてしまいますので、花蕾の周りの葉を折って花蕾に被せたり、周りの葉で花蕾を包み、巾着のように上でしばるとよいでしょう。

